

NY マーケットレポート (2015年7月14日)

NY市場では、序盤に発表された米小売売上高が2月以来4ヵ月ぶりのマイナスに落ち込んだことを受けて、米経済の先行きに慎重な見方が広がり、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなった。その後は反発したものの、15日のイエレン議長の議会証言を控えて、やや様子見の展開が続いた。一方、ユーロは、米経済指標の悪化を受けて、対ドルで上昇となり、対円などでも上昇する場面もあった。ただ、ギリシャ議会が金融支援を受ける条件となる関連法案を可決するかどうか見極めたいとの思惑から、上値の重い展開が続いた。また、カーニー英中銀総裁が、利上げを開始する時点は近づきつつあると、議会証言で発言したことを好感して、英ポンドは大半の主要通貨に対して上昇する動きとなった。

2015/7/14 (火)

| TOKYO | 東京終値 | 東京高値 | 東京安値 |
|---------|--------|--------|--------|
| USD/JPY | 123.46 | 123.65 | 123.20 |
| EUR/JPY | 135.71 | 136.03 | 135.28 |
| GBP/JPY | 190.91 | 191.54 | 190.59 |
| AUD/JPY | 91.67 | 91.79 | 91.33 |
| EUR/USD | 1.0993 | 1.1013 | 1.0966 |

| LONDON | LD高値 | LD安値 |
|---------|--------|--------|
| USD/JPY | 123.47 | 123.30 |
| EUR/JPY | 136.32 | 135.71 |
| GBP/JPY | 192.59 | 190.60 |
| AUD/JPY | 91.81 | 91.51 |
| EUR/USD | 1.1044 | 1.0994 |

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

| アジア主要株価 | 終値 | 前日比 |
|-------------|----------|---------|
| 日経平均 | 20385.33 | +295.56 |
| ハンセン指数 | 25120.91 | -103.10 |
| 上海総合 | 3924.49 | -45.90 |
| 韓国総合指数 | 2059.23 | -2.29 |
| 豪ASX200 | 5577.40 | +104.23 |
| インドSENSEX指数 | 27932.90 | -28.29 |
| シンガポールST指数 | 3316.50 | +5.28 |

| 欧州主要株価 | 終値 | 前日比 |
|-------------|----------|---------|
| 英FT100 | 6753.75 | +15.80 |
| 仏CAC40 | 5032.47 | +37.37 |
| 独DAX | 11516.90 | +32.52 |
| ST欧州600 | 398.30 | +1.84 |
| 西IBX35指数 | 11258.30 | +34.10 |
| 伊FTSE MIB指数 | 23097.51 | -69.53 |
| 南ア 全株指数 | 52109.52 | -365.30 |

| NEW YORK | NY終値 | NY高値 | NY安値 |
|----------|--------|--------|--------|
| USD/JPY | 123.38 | 123.45 | 122.93 |
| EUR/JPY | 135.79 | 136.41 | 135.67 |
| GBP/JPY | 192.89 | 192.92 | 191.88 |
| AUD/JPY | 91.92 | 92.00 | 91.68 |
| NZD/JPY | 82.77 | 82.93 | 82.50 |
| EUR/USD | 1.1007 | 1.1085 | 1.0994 |
| AUD/USD | 0.7450 | 0.7479 | 0.7433 |

| 米主要株価 | 終値 | 前日比 |
|--------|----------|---------|
| 米ダウ平均 | 18053.58 | +75.90 |
| S&P500 | 2108.95 | +9.35 |
| NASDAQ | 5104.89 | +33.38 |
| その他主要株 | 終値 | 前日比 |
| トロント総合 | 14599.40 | +66.18 |
| ボルサ指数 | 45136.69 | +146.30 |
| ボベスパ指数 | 53239.18 | +119.71 |

7/15 経済指標スケジュール

| | |
|-------|----------------------------|
| 09:30 | 【豪】7月ウエストバック消費者信頼感指数 |
| 11:00 | 【中】6月鉱工業生産・6月小売売上高 |
| 11:00 | 【中】2Q GDP |
| 11:00 | 【中】6月固定資産投資 |
| 12:00 | 【日】日銀金融政策決定会合[結果公表](時間不確定) |
| 15:45 | 【仏】6月消費者物価指数 |
| 16:00 | 【トルコ】4月失業率 |
| 17:00 | 【ノルウェー】6月貿易収支 |
| 17:30 | 【英】6月失業率・6月失業者数推移 |
| 17:30 | 【英】5月ILO失業率[四半期] |
| 18:00 | 【スイス】7月ZEW景況感調査 |
| 20:00 | 【米】MBA住宅ローン申請指数 |
| 20:00 | 【南ア】5月実質小売売上高 |
| 21:00 | 【ポーランド】6月消費者物価指数 |
| 21:30 | 【カナダ】5月製造業出荷 |
| 21:30 | 【米】6月生産者物価指数 |
| 21:30 | 【米】7月ニューヨーク連銀製造業景気指数 |
| 22:00 | 【米】6月中古住宅販売件数 |
| 22:15 | 【米】6月鉱工業生産・6月設備稼働率 |
| 23:00 | 【カナダ】政策金利発表 |
| 03:00 | 【米】7月米地区連銀経済報告[ページブック] |

| コモディティ | 終値 | 前日比 |
|---------|---------|--------|
| NY GOLD | 1153.50 | -1.90 |
| NY 原油 | 53.04 | +0.84 |
| CME コーン | 428.25 | -12.50 |
| CBOT 大豆 | 1025.00 | -3.50 |

| 米国債利回り | 本日 | 前日 |
|--------|-------|-------|
| 2年債 | 0.64% | 0.67% |
| 3年債 | 1.03% | 1.06% |
| 5年債 | 1.66% | 1.70% |
| 7年債 | 2.10% | 2.14% |
| 10年債 | 2.40% | 2.43% |
| 30年債 | 3.20% | 3.21% |

7/15 主要会議・講演・その他予定

- ・黒田日銀総裁 定例会見
- ・サンフランシスコ連銀総裁 講演
- ・イエレンFRB議長 議会証言

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

21 : 00

ドル/円 123.34 ユーロ/円 136.01 ユーロ/ドル 1.1028

21 : 00

欧州株式市場・米株価指数先物

| 欧州主要株価 | 株価 | 前日比 | 米株価先物 | 株価 | 前日比 |
|---------|----------|--------|------------------|---------|-------|
| 英 FT100 | 6723.69 | -14.26 | ダウ 先物ミニ | 17892 | -8 |
| 仏 CAC40 | 4993.32 | -4.78 | S&P 500 ミニ | 2093.75 | -0.75 |
| 独 DAX | 11442.63 | -41.75 | NASDAQ 100 ミニ | 4490.50 | -2.50 |

(出所: SBILM)

21 : 00

《 企業決算 》

米ウェルズ・ファーゴ

第2四半期の1株利益 1.03 ドル (予想 1.02 ドル)

米J & J

第2四半期の調整後1株利益は 1.71 ドル (予想 1.67 ドル)

21 : 00

《 経済指標の結果 》

5月ポーランド経常収支 11億8400万 PLN (予想 3億4900万 PLN・前回 11億2900万 PLN)
 前回発表の11億3800万 PLNから11億2900万 PLN

5月ポーランド貿易収支 9億4600万 PLN (予想 2200万 PLN・前回 1億1900万 PLN)
 前回発表の1億2700万 PLNから1億1900万 PLN



(出所：ブルームバーグ)



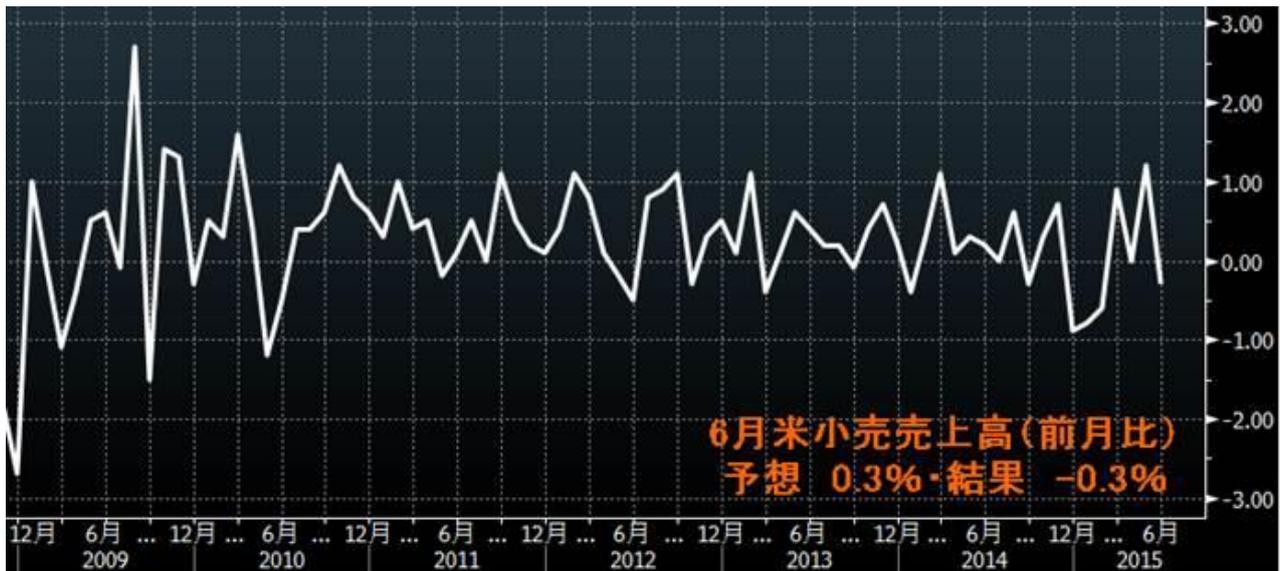
(出所：ブルームバーグ)

21 : 30

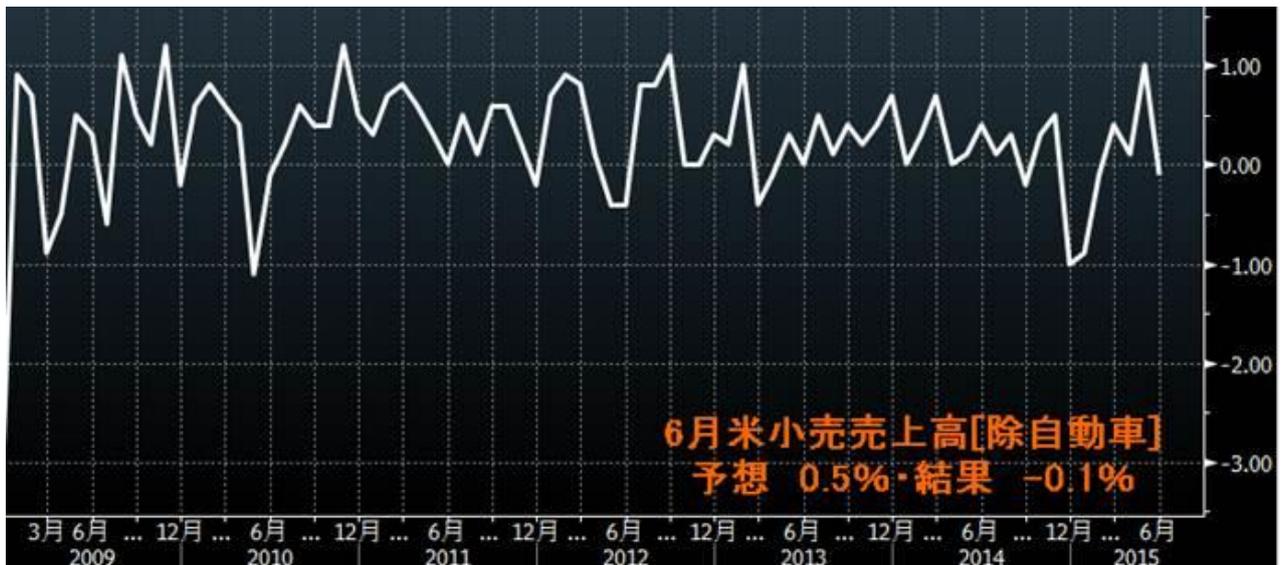
◀ 経済指標の結果 ▶

6月米小売売上高（前月比） -0.3%（予想 0.3%・前回 1.0%）
 前回発表の1.2%から1.0%に修正

6月米小売売上高[除自動車] -0.1%（予想 0.5%・前回 0.8%）
 前回発表の1.0%から0.8%に修正



(出所：ブルームバーグ)



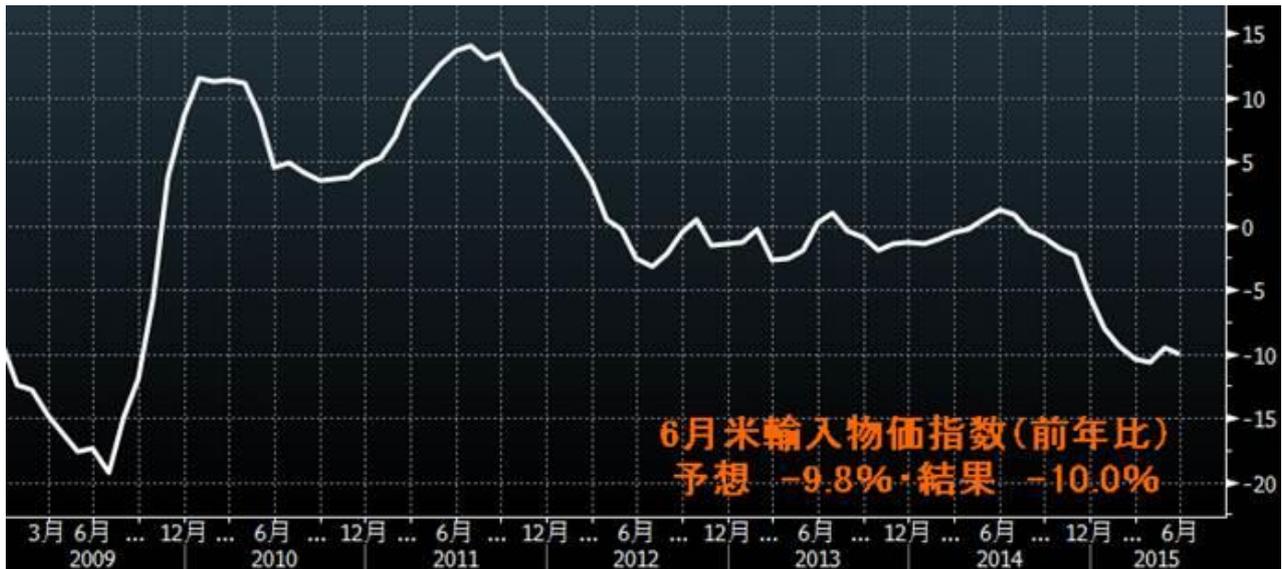
(出所：ブルームバーグ)

指標結果データ

《米小売売上高》

| | 6月 | 5月 | 4月 | 3月 | 2月 | 前年同月 |
|--------|------|------|------|-----|------|------|
| 小売売上高 | -0.3 | 1.0 | 0.0 | 1.5 | -0.5 | 2.9 |
| 除く自動車 | -0.1 | 0.8 | -0.1 | 1.0 | -0.1 | 1.1 |
| 自動車・部品 | -1.1 | 1.8 | 0.6 | 3.5 | -2.2 | 6.5 |
| 建設資材等 | -1.3 | 0.4 | -1.8 | 2.8 | -2.0 | -1.4 |
| 食品・飲料 | 0.0 | 0.5 | -0.3 | 0.7 | 0.0 | 2.4 |
| 総合小売店 | 0.7 | 1.4 | -0.7 | 1.4 | -2.4 | 1.2 |
| 大規模小売店 | -0.6 | 1.9 | -3.0 | 3.1 | -2.0 | -1.7 |
| その他小売店 | -0.2 | -0.1 | 1.7 | 0.3 | -2.0 | 2.9 |

(前月比%)



(出所：ブルームバーグ)

指標結果データ

≪米輸出入物価≫

| | 6月 | 5月 | 4月 | 3月 | 2月 | 1月 |
|--------|------|------|------|------|------|-------|
| 全輸入 | -0.1 | 1.2 | -0.2 | -0.2 | 0.4 | -3.2 |
| 石油 | 0.8 | 11.7 | 2.4 | 2.2 | -1.4 | -21.2 |
| 非石油 | -0.2 | 0.0 | -0.4 | -0.4 | -0.3 | -0.7 |
| 食品・飲料等 | -0.6 | 0.2 | -0.9 | -0.7 | 0.1 | -1.7 |
| 資本財 | 0.0 | -0.1 | -0.3 | -0.1 | -0.3 | -0.3 |
| 自動車・部品 | -0.1 | 0.0 | -0.1 | -0.1 | -0.4 | -0.7 |
| 消費財 | 0.0 | 0.0 | -0.1 | -0.3 | 0.3 | -0.4 |

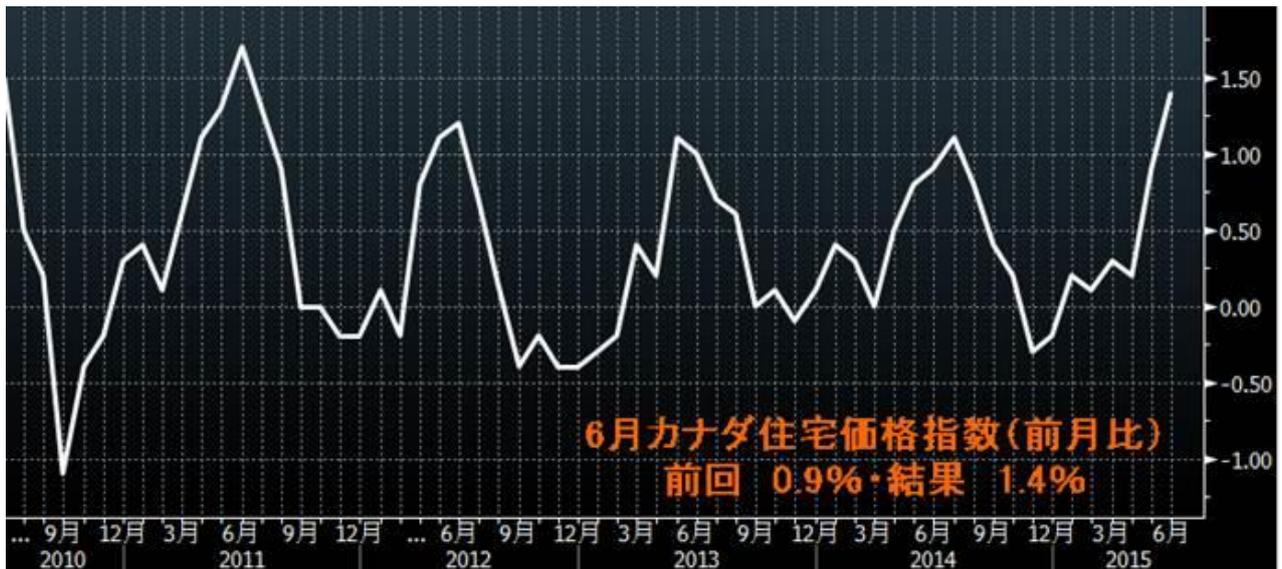
| | 6月 | 5月 | 4月 | 3月 | 2月 | 1月 |
|--------|------|------|------|------|------|------|
| 全輸出 | -0.2 | 0.6 | -0.7 | 0.1 | -0.2 | -1.7 |
| 農業 | -1.5 | -1.2 | -0.9 | -1.6 | -2.2 | -1.4 |
| 非農業 | -0.1 | 0.7 | -0.7 | 0.2 | 0.2 | -1.8 |
| 食品・飲料等 | -2.3 | -1.2 | -1.2 | -1.2 | -2.2 | -1.8 |
| 資本財 | 0.0 | -0.1 | -0.2 | 0.0 | 0.2 | 0.2 |
| 自動車・部品 | 0.1 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | -0.2 | -0.1 |
| 消費財 | 0.3 | 0.0 | -0.4 | -0.1 | -0.4 | -0.7 |

21:30

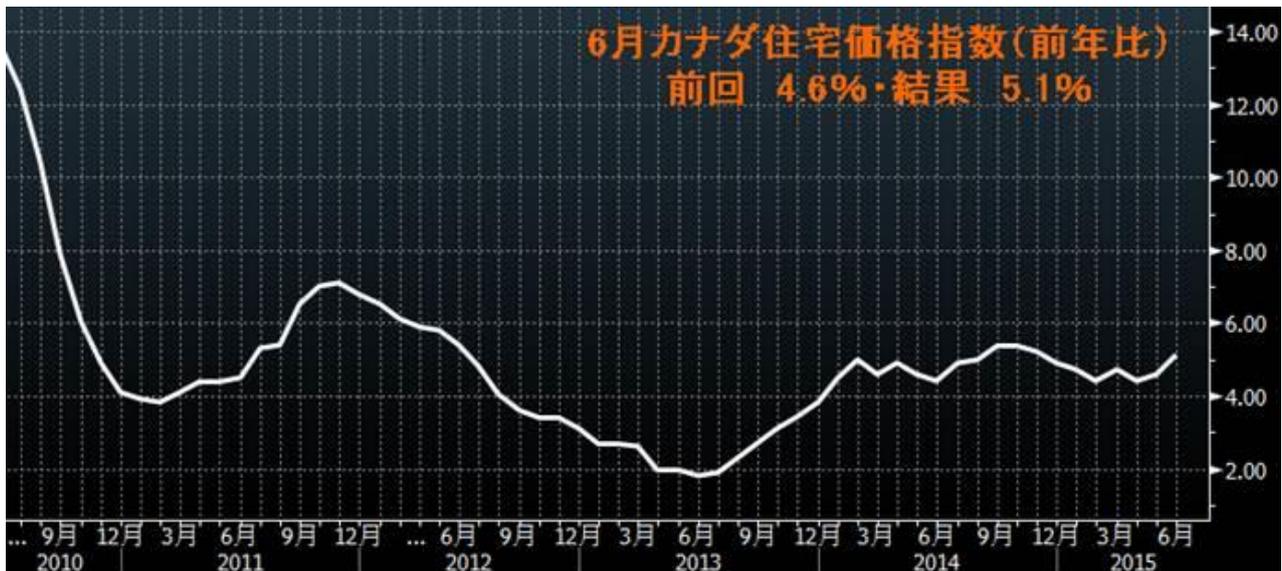
≪ 経済指標の結果 ≫

6月カナダ住宅価格指数(前月比) 1.4%(前回 0.9%)

6月カナダ住宅価格指数(前年比) 5.1%(前回 4.6%)



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

22 : 33

米主要株価

| 米主要株 | 株価 | 前日比 |
|-------|----------|-------|
| ダウ平均 | 17968.59 | -9.09 |
| ナスダック | 5076.26 | +4.75 |

(出所：SBILM)

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

5月米企業在庫(前月比) 0.3% (予想 0.3%・前回 0.4%)



(出所：ブルームバーグ)

指標結果データ
 ≪米企業在庫≫

| | 5月 | 4月 | 3月 | 2月 | 1月 | 12月 | 前年同月比 |
|--------|------|-----|------|-----|------|------|-------|
| 企業在庫 | 0.3 | 0.4 | 0.1 | 0.3 | -0.0 | 0.1 | 2.4 |
| 製造業 | 0.0 | 0.2 | -0.1 | 0.1 | -0.7 | -0.5 | -0.6 |
| 小売業 | 0.0 | 0.6 | 0.3 | 0.5 | 0.0 | 0.7 | 3.4 |
| 自動車・部品 | -0.2 | 0.9 | 0.7 | 0.4 | -0.1 | 1.5 | 5.0 |
| 卸売業 | 0.8 | 0.4 | 0.2 | 0.2 | 0.4 | 0.1 | 5.0 |

| | 5月 | 4月 | 3月 | 2月 | 1月 | 12月 | 前年同月比 |
|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 企業売上 | 0.4 | 0.5 | 0.6 | -0.3 | -2.3 | -1.0 | -2.2 |
| 製造業 | -0.1 | 0.0 | 0.5 | 0.1 | -2.2 | -0.9 | -3.7 |
| 小売業 | 1.1 | -0.1 | 1.6 | -0.6 | -0.9 | -1.2 | 1.6 |
| 卸売業 | 0.3 | 1.7 | -0.3 | -0.6 | -3.6 | -0.9 | -3.8 |

23:30

≪ NY 株式市場 序盤 ≫

序盤の株式市場は、米小売売上高が予想に反してマイナスとなったことから、やや軟調な動きも見られた。また、ギリシャの財政危機をめぐり、ギリシャ議会が財政再建策を承認するかどうかを見極めようと積極的な取引が手控えられたことから、全般的に小動きの展開が続いている。

≪ 経済指標のポイント ≫

(1) 6月 NFIB (全米独立事業者協会) 米中小企業楽観度指数は、94.1 と前月から 4.2 ポイント低下し、2014年3月以来1年超ぶりの低水準となった。減益懸念や雇用市場の低迷傾向が広がる中、今年後半に経済が大幅に成長するとの期待が後退している。NFIBのエコノミストは、リセッションの兆候を示すものではないが、今年後半の経済成長に関する楽観的な見方には水を差す内容。海外での不測の事態が、成長鈍化に拍車をかける可能性もあると指摘している。

(2) 6月の米小売売上高は、前月比-0.3%の4420億3200万ドルと、市場予想+0.2%に反して減少となり、今年2月以来4ヵ月ぶりのマイナスに落ち込んだ。前年同月比では+1.4%。主力の自動車・部品を中心に減少が目立ち、全体を押し下げる結果となった。

①小売売上高は昨年12月から今年2月にかけて悪天候などの影響からマイナスが続いたものの、その後は持ち直しの動きもみられたが、再びマイナスに落ち込むなど、改めて勢いの乏しさを示す結果となった。

②変動が大きい自動車・同部品を除く売上高は、前月比-0.1%と市場予想の0.5%に反して低下、前年同月比では+0.1%。

③品目・業種別では、自動車・同部品が前月比-1.1%、家具・装飾が-1.6%、外食が-0.2%、服飾が-1.5%、建材・園芸が-1.3%。一方、ガソリンスタンドは+0.8%、電子・家電も+1.0%となった。

(3)6月の米輸入物価指数は、前月比-0.1%となり、2ヵ月ぶりのマイナスとなった。前年同月比では-10.0%。食品など燃料以外の値下がりが全体を押し下げる結果となった。

①ドル高などを背景に低迷が続いてきた輸入物価は、5月には11ヵ月ぶりに前月比プラスに転じていたが、再び低下した。

②石油は、前月比で+0.8%、前年同月比では-41.3%。石油以外の品目は前月比-0.2%、前年同月比では-2.6%となった。

③品目別では、食品・飲料品が-0.6%、資材が+0.1%、自動車・部品が-0.1%、原油は+1.8%、天然ガスは+0.3%となった。

④国・地域別では、日本は-0.4%、中国は0.1%、カナダは+0.4%、EUが+0.2%、メキシコ・中南米は+0.1%。

(4)5月の米企業在庫は、市場予想通りの前月比+0.3%の1兆7978億2400万ドルとなった。前年同月比では+2.4%。

①業種別は、卸売業が前月比+0.8%と昨年11月以来の高い伸びとなり、小売業と製造業は横ばい。自動車・同部品を除く小売業は+0.1%。小売業では、自動車・同部品が-0.2%と昨年11月以来の減少幅、家具・家電類も-0.3%、総合小売りは0.5%、建材・園芸は+0.2%。食品・飲料は横ばい。

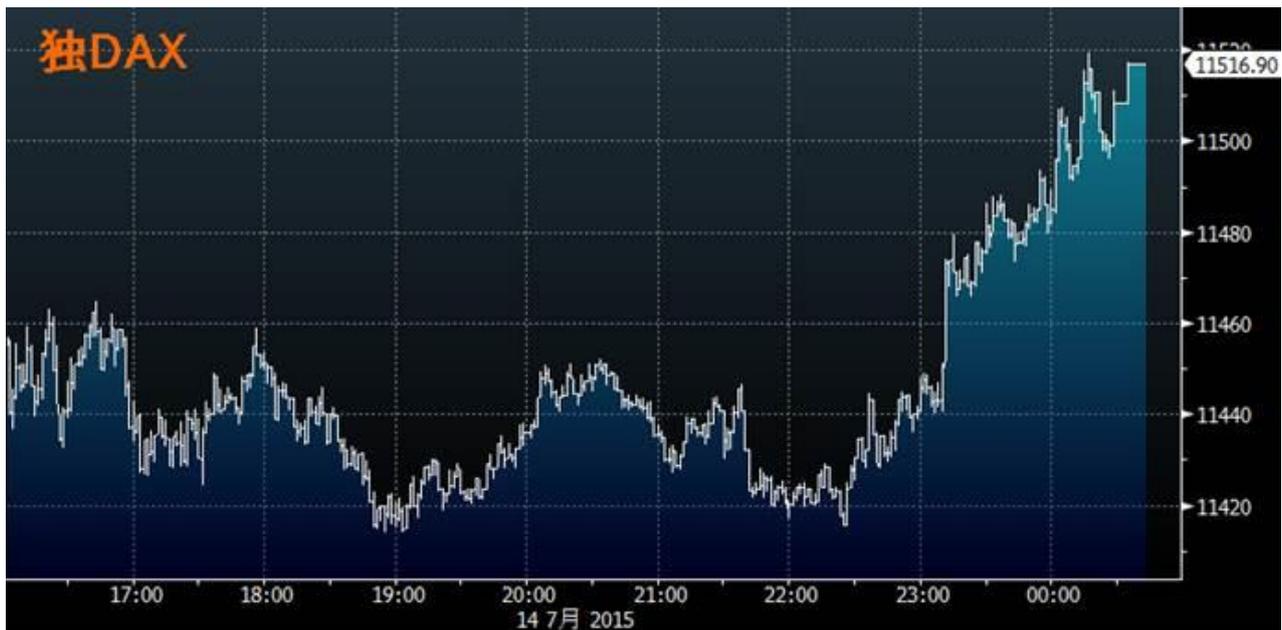
②企業売上高は、前月比+0.4%の1兆3235億5600万ドルと、金額ベースで昨年12月以来の高水準、前年同月比は-2.2%。業種別では、小売業が前月比1.1%、卸売業が0.3%、製造業は-0.1%。在庫に対する売上高の比率は前月から横ばいの1.36。

| 欧州主要株価 | 終値 | 前日比 |
|------------------|----------|---------|
| 英 FT100 | 6753.75 | +15.80 |
| 仏 CAC40 | 5032.47 | +34.37 |
| 独 DAX | 11516.90 | +32.52 |
| ストック欧州 600 指数 | 398.30 | +1.84 |
| ユーロファースト 300 指数 | 1580.34 | +8.29 |
| スペイン IBEX35 指数 | 11258.30 | +34.10 |
| イタリア FTSE MIB 指数 | 23097.51 | -69.53 |
| 南ア アフリカ全株指数 | 52109.52 | -365.30 |

(出所: SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、ギリシャ情勢の先行き期待を背景に、主要株価は堅調な動きとなった。EUの支援条件となる財政再建築実行に向けた関連法案をギリシャ議会が可決できるかどうか見極めたいと様子見ムードも強く、やや値動きは限定的となった。



(出所：ブルームバーグ)

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 18044.98 (+67.30)、S&P500 2107.91 (+8.31) ナスダック 5109.55 (+38.04)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、6月の米小売売上高が市場予想に反して減少したほか、米輸入物価指数も予想外の低下となったことで年内の米利上げへの警戒感が後退し、買いが優勢となった。ただ、米下院で行われるイエレンFRB議長の議会証言を控えて様子見ムードも強く、上値の重い展開が続いた。

午前の利回りは、30年債が3.21%（前日3.23%）、10年債が2.42%（2.45%）、7年債が2.11%（2.15%）、5年債が1.67%（1.71%）、3年債が1.03%（1.07%）、2年債が0.64%（0.68%）。

《 欧州のポイント 》

①7月の独ZEW景気期待指数は、市場予想の29.0を上回る29.7となったものの、前月の31.5から低下し、昨年11月以来の低水準となった。現況指数は63.9（前月62.9）だった。ZEWは、7月は投資家の信認はわずかに損なわれただけで、ギリシャ危機がドイツ国内の楽観的見方にそれほど影響していないことを示すと指摘。ギリシャ危機やユーロ離脱といった事態が国内経済には影響せず、ユーロ安やエネルギー価格低下に注目しているとした。

②スペイン国家統計局が発表した6月の消費者物価指数確報値は、前年比+0.1%となり、12ヵ月ぶりにプラスとなった。EU基準では、前年比横ばい。市場予想と一致した。デフレリスクは大幅に後退しており、ECBの量的緩和措置も好影響を与えているとの指摘もある。

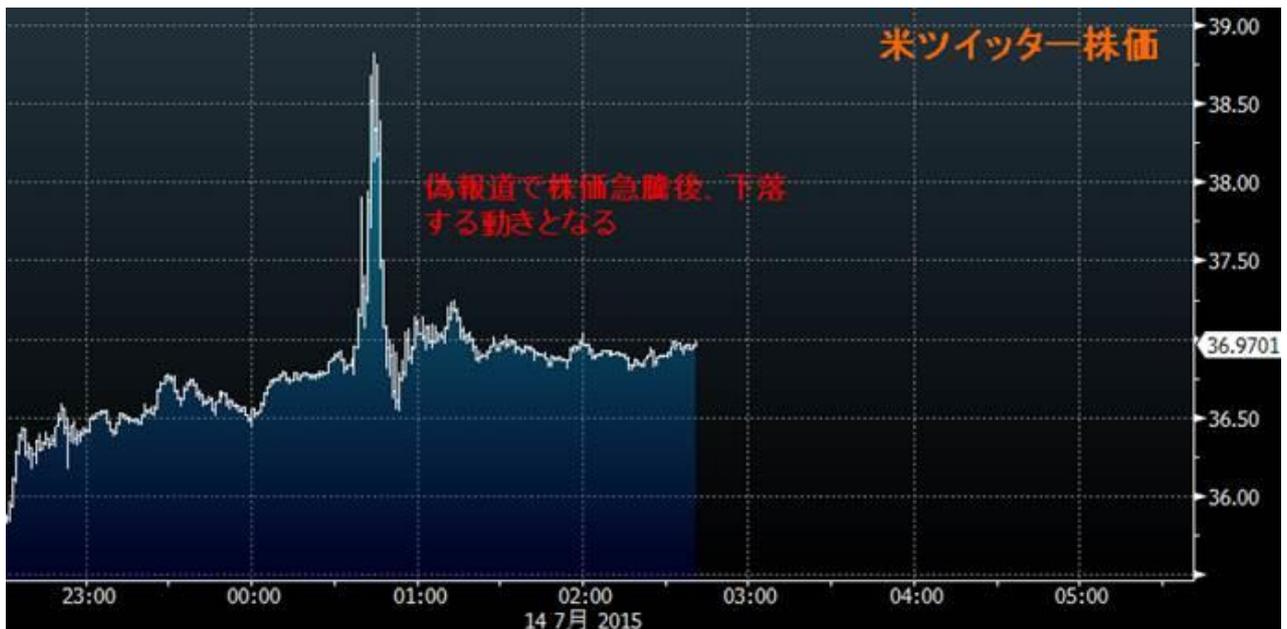
③スウェーデン統計局が発表した6月の消費者物価指数は前年比-0.4%、前月比-0.3%となり、市場予想下回る結果となった。統計局は、衣料品価格の下落が主因で、食料品価格も下落したと説明した。スウェーデン中銀は、政策金利を据え置き予想に反して-0.35%に引き下げており、インフレ率の押し上げに対する圧力がさらに強まっている。金利の影響を除いた基調CPIは、前月比+0.2%、前年比+0.6%だった。

④カーニー英中銀総裁は、議会証言で「経済の状況に照らし、利上げを開始する時点は近づきつつある」と述べた。これは「ディスインフレによって幾分相殺される」と付け加えた。総裁の発言前に発表された6月の英インフレ率

はゼロだったが、中銀の MPC（金融政策委員会）は労働市場の見通しを重視しており、賃金上昇の加速を受けて一部メンバーは近く利上げが必要との見方を示している。

2 : 30

ツイッターが 310 億ドルの買収案を提示されたことを受け、金融機関と連携しているとの報道が流れ、ツイッター株は、一時 38.82 ドルまで上昇。しかし、情報会社が報じたように見せかけた偽の報道だったことが明らかになり、上げ幅を帳消しにする動きとなった。



(出所：ブルームバーグ)

3 : 05

公定歩合会合議事録（6月15日分）

- ・「5地区の連銀が公定歩合を0.25ポイント引き上げて1.00%にするよう求めた」
- ・「残り7連銀のうち6連銀が据え置きを要求した」
- ・「ミネアポリス連銀は、0.25ポイントの引き下げを求めた」
- ・「最終的に現状の0.75%のままに公定歩合を維持すると決めた」

- ・「12連銀の理事は、経済は年初に減速した後、緩やかなペースで拡大しているとの認識を共有」
- ・「経済は一時的要因を反映した年初の減速後、緩やかなペースで拡大」
- ・「大半の理事は労働市場の一段の改善を報告」
- ・「数人は、技能資格を満たす求職者の不足などを理由にした賃金上昇圧力の高まりを指摘」

- ・「物価は2%を下回り続けているが、時間とともに上昇を予想」
- ・「数人の理事は住宅市場の改善を報告」

3 : 30

NY金は、中心限月が前日比1.90ドル安の1オンス=1153.50ドルで取引を終了した。

4 : 30

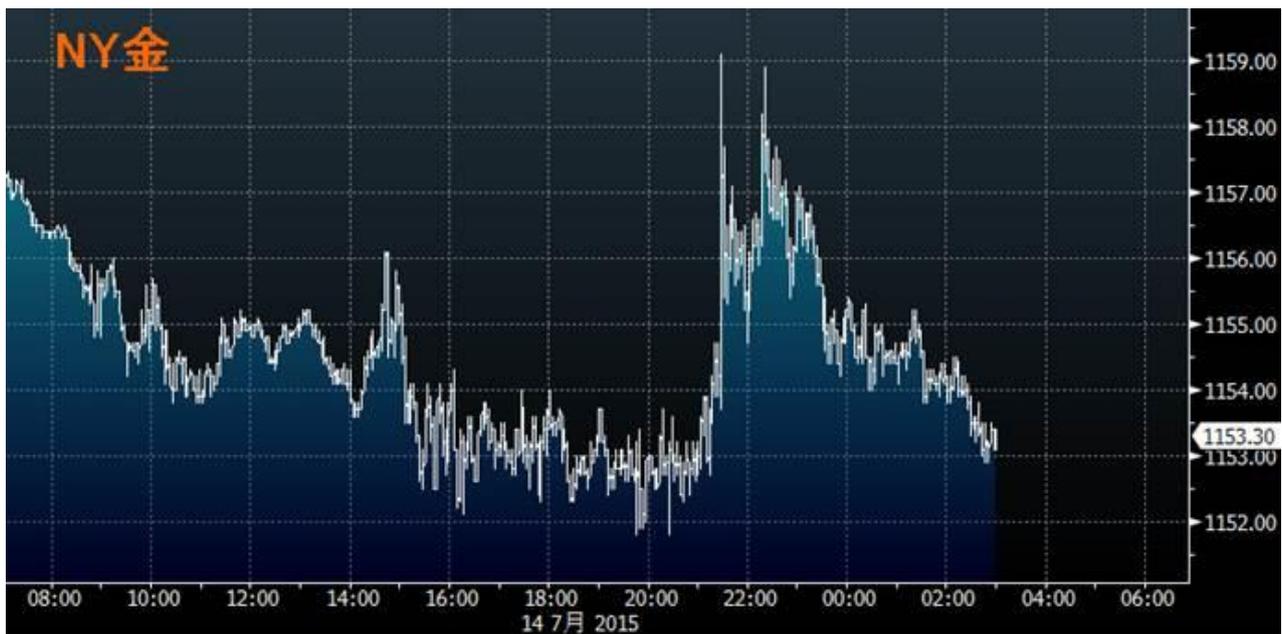
NY原油は、中心限月が前日比0.84ドル高の1バレル=53.04ドルで取引を終了した。

| 主要商品 | 終 値 | 前日比 |
|---------|---------|-------|
| NY GOLD | 1153.50 | -1.90 |
| NY 原油 | 53.04 | +0.84 |

(出所：SBILM)

◀ NY 金市場 ▶

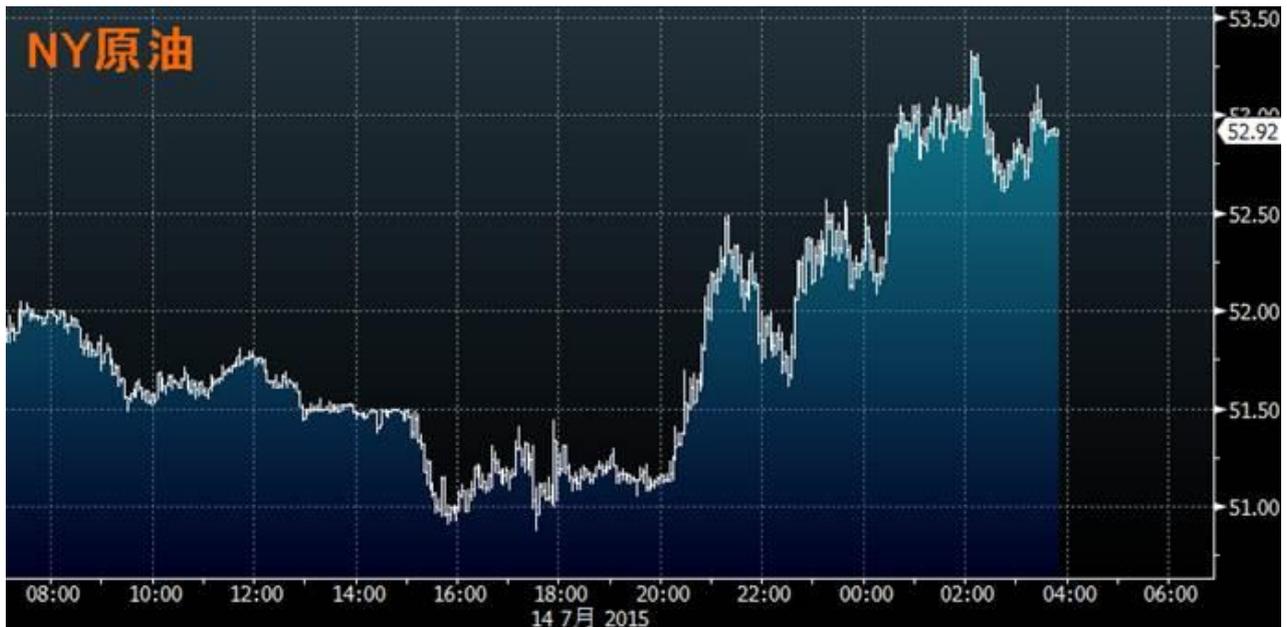
NY 金は、6月の米小売売上高が予想外の減少となったことを受けて、買いが先行した。ただ、米FRBによる利上げが近づいているとの警戒感が根強く、金を売る動きが優勢となった。



(出所：ブルームバーグ)

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、欧米など6カ国とイランは核協議で最終合意したが、経済制裁が解除されイラン産原油の供給が回復するには時間がかかるとの見方が広がり、買いが優勢となった。ドルが主要通貨に対して下落し、ドル建ての原油に割安感が出たことも支援材料となった。



(出所：ブルームバーグ)

| 主要株価 | 終値 | 前日比 | 高値 | 安値 |
|----------|----------|--------|----------|----------|
| ダウ平均株価 | 18053.58 | +75.90 | 18072.82 | 17956.17 |
| S&P500 種 | 2108.95 | 9.35 | 2111.98 | 2098.18 |
| ナスダック | 5104.89 | +33.38 | 5116.52 | 5075.12 |

(出所：SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、米小売売上高が予想に反してマイナスとなったことから、序盤はやや軟調な動きも見られた。また、ギリシャの財政危機をめぐり、ギリシャ議会が財政再建策を承認するかどうかを見極めようと積極的な取引が手控えられたことから、序盤は全般的に小動きの展開が続いた。その後は、米指標悪化で利上げ期待の後退観測もあり、終盤まで堅調な展開が続いた。



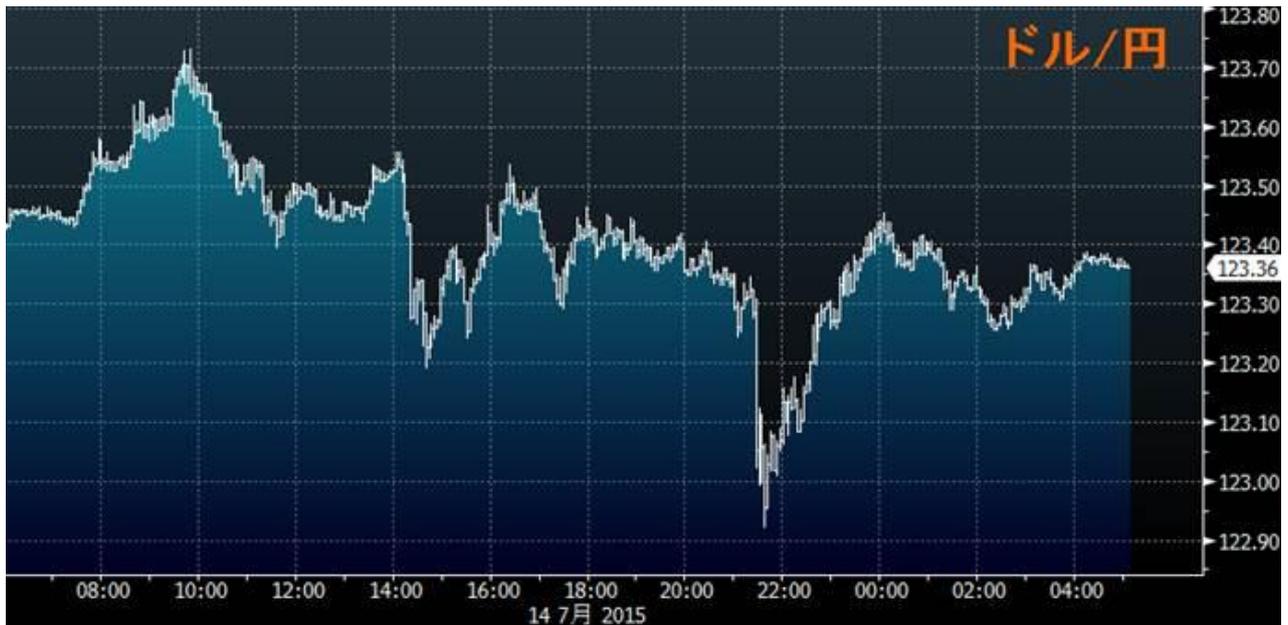
(出所：ブルームバーグ)

| 主要通貨 | NY 終値 | NY 高値 | NY 安値 |
|---------|--------|--------|--------|
| USD/JPY | 123.38 | 123.45 | 122.93 |
| EUR/JPY | 135.79 | 136.41 | 135.67 |
| GBP/JPY | 192.89 | 192.92 | 191.88 |
| AUD/JPY | 91.92 | 92.00 | 91.68 |
| NZD/JPY | 82.77 | 82.93 | 82.50 |
| EUR/USD | 1.1007 | 1.1085 | 1.0994 |
| AUD/USD | 0.7450 | 0.7479 | 0.7433 |

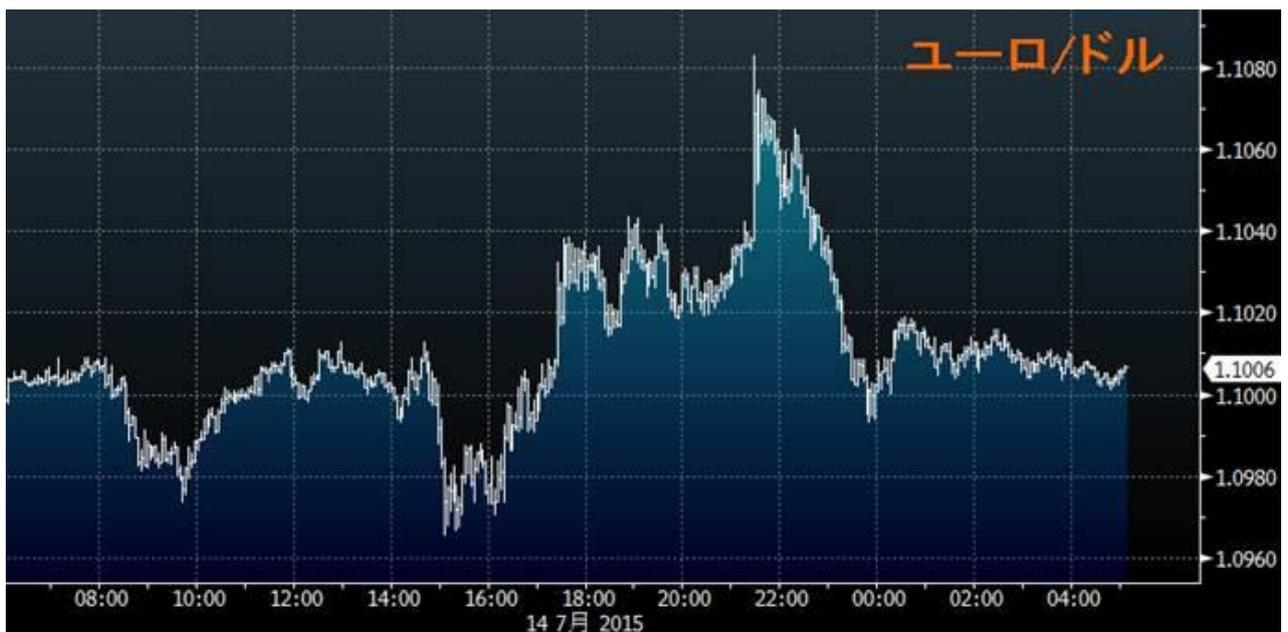
(出所：SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、6月の米小売売上高が大きく減少したため、米経済の先行きに慎重な見方が広がって、ドルが主要通貨に対して軟調な動きとなった。その後は反発する場面もあったが、上値の重い動きとなった。ユーロは、序盤堅調な動きも見られたものの、ギリシャ情勢を見極めたいとの思惑から、上値の重い動きが続いた。また、英中銀総裁が早期利上げ開始の可能性を示唆したことから、主要通貨に対して堅調な動きとなった。



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。